

社会政策学会 *Newsletter*

◇学会本部 東京大学大学院人文社会系研究科 武川正吾 気付 URL <http://www.soc.nii.ac.jp/sssp/>
 Tel:03-5841-3876 Fax:03-5841-3876 E-mail:sssp2006@hotmail.co.jp
 ◇編集・発行 武川正吾(代表幹事) 所 道彦(ニューズレター担当幹事)
 ◇事務センター 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-2 大橋ビル (株)ワールドプランニング
 Tel:03-3431-3715 Fax:03-3431-3325 E-mail:world@med.email.ne.jp

<目次>

1. 第 116 回大会報告募集
2. 学会賞選考委員会からのお願い
3. 社会政策学会役員選挙結果
4. 第 115 回大会臨時総会資料
5. 幹事会報告
6. 承認された新入会員

1. 第116回大会報告募集

【社会政策学会 春季大会企画委員会からのお知らせ】
 第 116 回大会の自由論題、テーマ別分科会の報告募集について

社会政策学会第 116 回大会は、2008 年 5 月 24 日と 25 日に國學院大學(渋谷キャンパス)で開催されます。春季大会企画委員会では、同大会で開かれる自由論題およびテーマ別分科会での報告を募集しています。報告をご希望の方は、下記の要領でご応募ください。

第 116 回大会は、第 1 日目 5 月 24 日(土)に共通論題が行われ、第 2 日目 5 月 25 日(日)に自由論題およびテーマ別分科会が行われます。

(1) 自由論題で報告を希望される会員は、学会のホームページからダウンロードした応募用紙に、報告タイトル、所属機関とポジション、氏名(ふりがな)、連絡先(住所、電話、Fax、E-mail アドレス)、400 字程度のアブストラクト、専門分野別コード(1. 労使関係・労働経済、2. 社会保障・社会福祉、3. 労働史・労働運動史、4. ジェンダー・女性、5. 生活・家族、6. その他)等必要事項を記入のうえ、添付ファイルとして以下の E-mail アドレスにご応募ください。

自由論題報告 応募・問い合わせ先メールアドレス
 sssp2006@yahoo.co.jp

なお、論文、あるいは他の学会報告等のかたちで既発表の報告の応募は、不採択といたしますのでご注意ください。また、自由論題に応募資格があるのは、会員で、当該年度まで会費を納入されている方です。

(2) テーマ別分科会の企画を希望する会員は、学会のホームページからダウンロードした応募用紙に、分科会名、座長・コーディネーターの氏名(ふりがな)、所属機関とポジ

ション、連絡先(住所、電話、Fax、E-mail アドレス)、報告者の氏名(ふりがな)、所属機関とポジション、E-mail アドレス、分科会タイトル、分科会設定の趣旨(400 字程度、非会員を報告者に招聘するときは、招聘しなければならない理由を記入のこと)、各報告者のアブストラクト(400 字程度)等の必要事項を記載のうえ、添付ファイルとして以下の E-mail アドレスにご応募ください。なお、テーマ別分科会の企画に応募資格があるのは、会員のみです。

テーマ別分科会報告 応募・問い合わせ先メールアドレス
 sspkikaku@yahoo.co.jp

以下は、自由論題とテーマ別分科会の応募に共通の注意事項です。

(3) 応募にあたっては、2008 年 1 月 10 日現在の所属機関とポジションをご記入ください。大会プログラムにも、2008 年 1 月 10 日現在と注記して、この所属機関とポジション(ただし、紙幅の都合上、省略形とします)を表記いたします。4 月 1 日より変更となる方は、報告時のフルペーパーに新しい所属機関などを各自がお書きくださることで、変更にご対応ください。4 月に変更をお知らせいただいても、春季大会企画委員会と大会実行委員会では対応できないことがあり、大会プログラムの表記統一のため、ご了解をお願いいたします。

なお、「ポジション」記入が応募用紙や大会プログラムに必要なかどうか、正確な記入が可能かどうか、について幹事会などで議論がありますが、今回は従来どおりといたします。

(4) 報告者の E-mail アドレスのみは、印刷物の大会プログラムに掲載いたします。大会後に大会参加者が報告者に連絡を取りやすくするためです。印刷物の大会プログラムへの掲載に同意される報告者は、その E-mail アドレスをご記入ください。なお、ホームページに掲載の大会プログラムからは、報告者の E-mail アドレスを削除する予定です。

(5) 応募用紙に、タイトルおよび報告者の氏名・所属機関・ポジションの英語表記を記入していただくことになっていきますので、ご注意ください。

(6) 応募用紙の「趣旨」「アブストラクト」の「400 字程度」との字数をお守りください。記入の不完全なもの、字数の著しく過剰なものや過小なものは、応募を不採択とさせていただきます。

- (7) 応募は、原則として、学会ホームページからダウンロードした応募用紙に必要な事項を記入し、添付ファイルとして、上記のE-mailアドレスにお送りいただくことになっています。しかし、コンピューター環境が整っていない場合は、上記の通りの必要事項を漏れなく記載して、下記の春季大会企画委員長宛に郵送でお送りいただいても結構です。
- (8) 応募の締め切りは、2008年1月10日です。郵送の場合は当日必着です。締め切り後の応募は、不採択とさせていただきます。
- (9) 応募された方に対しては、締め切りから一週間以内に応募用紙受理の連絡を行います。この時までには連絡のない場合はなんらかの事故の可能性がありますので、各問い合わせメールアドレス(あるいは下記の春季大会企画委員長宛)にお問い合わせください。
- (10) 応募の採択と不採択の結果については、春季大会企画委員会および幹事会で審査の上、2月中旬までにご連絡する予定です。
- (11) 自由論題およびテーマ別分科会で報告が採択された方には、大会2週間前までにフルペーパー100部(日本語が好ましいが英語も可、その他の語は不可)の開催校への送付をお願いしていますので、あらかじめご了解ください。なお、従来のホームページ用原稿の提出は、廃止されました。下記(12)を奨励するためです。
- (12) 自由論題およびテーマ別分科会で報告された会員は、大会での報告後、フルペーパーに改善を加えて、社会政策学会誌『社会政策』に投稿されることを、幹事会と学会誌編集委員会はつよく奨励し期待しています。大会用フルペーパーは、その後の投稿を考慮してご執筆ください。なお、『社会政策』へ投稿する資格があるのは、会員のみです。

春季大会企画委員長 遠藤公嗣(えんどうこうし)
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1
明治大学経営学部
電話:03-3296-2064(直通)
Fax:03-3296-2350(共用)
Email: endokosh@kisc.meiji.ac.jp

2. 学会賞選考委員会からのお願い

会員の皆様にお願ひです。2007年1月～12月に刊行されました会員の著書をお知らせ下さい。著書を刊行されている会員の方から寄贈いただければ有難く存じます。

また、自薦他薦を問わず、賞への推薦も受け付けます。
(選考委員長 大阪市立大学 玉井金五まで)

3. 社会政策学会役員選挙結果

社会政策学会役員(2008年5月総会から2年間)
選挙結果のお知らせ

選挙管理委員会

委員長: 橋元秀一

委員: 富田義典、都留民子、河野 真、熊沢 透

9月5日より10月1日まで郵送により実施されました2008年5月総会から2年間を任期とする社会政策学会役員選挙の結果は、10月13日の社会政策学会第115回大会(龍谷大学)臨時総会で発表されましたように、以下の通りとなりましたのでお知らせ申し上げます。

残念ながら、投票者が前回よりも25%減少し、投票率は14%余りに留まりました。次回選挙では多数の方が投票くださることを願っております。

- 投票者数 164名(有権者1,142名、投票率14.4%)
- 有効投票者数 162名、無効2名
- 有効票数
 - 幹事 972票
(22票が無効票、会則第13条により被選挙権のない者に投票)
 - 会計監査 118票

4. 幹事当選者および次点

(1) 九州・中国四国ブロック(定員2名)

阿部 誠 (22票)

都留 民子 (15票)

次点: 石井まこと (8票)

(2) 関西・東海北陸ブロック(定員4名)

山本 郁郎 (80票)

玉井 金五 (26票)

埋橋 孝文 (19票)

久本 憲夫 (12票)

次点: 伍賀 一道 (11票)

(3) 関東・甲信越ブロック(定員8名)

岩田 正美 (14票)

菅沼 隆 (13票)

森 ます美 (11票)

田中 洋子 (11票)

遠藤 公嗣 (10票)

矢野 聡 (10票)

小越洋之助 (9票)

佐口 和郎 (9票)

第一次点: 小野塚知二 (9票)

第二次点: 五十嵐 仁 (9票)

注: 9票同数者が4名であったので、「役員選挙に関する規程」第12条により、選挙委員会による抽選によって、上の結果となった。

- (4) 東北・北海道ブロック(定員2名)
小笠原浩一 (91票)
宮本 太郎 (17票)
次点:美馬 孝人 (6票)

5. 会計監査当選者および次点
武川 正吾 (12票)
次点:森 建資 (10票)

以上

4. 第115回大会臨時総会資料

社会政策学会第115回大会臨時総会議事次第
(2007年10月13日)

議題

1. 議長選出
2. 役員選挙結果
3. 広報委員会の設置
4. 社会政策学会賞表彰規程の改正
5. 編集委員会報告
6. その他

社会政策学会広報委員会規程(案)

- 第1条 広報委員会は、ニューズレターの編集・発行、学会ホームページ、会員に対する電子メールを用いた情報提供など、学会の広報活動に関する業務を担当する。
- 第2条 広報委員会は、委員長、副委員長および委員若干名によって構成される。
- 第3条 委員長は、幹事会で幹事より選ぶ。副委員長および委員若干名は、委員長が指名し幹事会が承認する。
- 第4条 委員長、副委員長、委員の任期は2年とする。再任は妨げないが3選は禁止する。
- 第5条 委員長は必要に応じて委員会を招集できる。
- 付 則 本規程は、2007年10月13日より施行する。
制 定 2007年10月13日

社会政策学会賞表彰規程改正案

【現行】

- 第2条 「社会政策学会学術賞」(以下学術賞と呼ぶ)は、本会に3年以上継続して在籍し、特に顕著な研究業績を

発表した会員1名に授与する。

- 第4条 学術賞および奨励賞の審査の対象となる業績は、表彰の前年の1月1日から12月末日までの間に公開された著書、論文またはそれに準ずるものとする。

付 則 2. 本規程は1994年1月1日から施行する。

「社会政策学会賞表彰規程」に関する細則

1. 奨励賞については、複数の受賞もありうるものとする。
2. 選考委員の指名は会員に公表する。
3. 選考委員会に出席するための交通費は、年2回を限度として支給する。

【改正案】

- 第2条 「社会政策学会学術賞」(以下学術賞と呼ぶ)は、本会に3年以上継続して在籍し、特に顕著な研究業績を発表した会員に授与する。

- 第4条 学術賞および奨励賞の審査の対象となる業績は、表彰の前年の1月1日から12月末日までの間に公開された著書とする。

付 則 2. 本規程は1994年1月1日から施行する。

制 定 1994年1月

一部改正 2007年10月13日(学術賞の複数受賞、審査対象の著書への限定)

「社会政策学会賞表彰規程」に関する細則

1. 選考委員の氏名は会員に公表する。
2. 選考委員会に出席するための交通費は、年2回を限度として支給する。

以上、臨時総会において、原案通り可決された。

5. 幹事会報告

社会政策学会幹事会議事録(第13回)

- (1) 名 称 : 社会政策学会 2006-2008 年期第13回幹事会
- (2) 日 時 : 2007年9月9日(日) 14:00~17:25
- (3) 場 所 : 東京大学本郷キャンパス山上会館会議室
- (4) 出 席 : 岩田、埋橋、遠藤、大前、猿田、武川、玉井、所
欠 席 : 居神、阿部、大沢、小笠原、小野塚、小越、木本
都留、富田、西村、橋元、藤澤、松丸、宮本
室住 湯澤、森
出席8名、委任状12名

議 題

1. 新入会員の承認
13名の新入会員を承認した。

2. 前回議事録の確認
第13回幹事会議事録案の最終確認を行った。

3. 会員業績目録の扱いについて
法政大学大原社会問題研究所による「社会政策学会会員業績リストの取り扱いについて」の申し入れを継続審議した。
これまで『大原社会問題研究所雑誌』に掲載をお願いしてきた社会政策学会会員の業績目録の掲載については、同研究所からの申し入れを入れて、2006年分を最後に同誌への掲載は取りやめることとした。

2007年分の扱いについては、前回、(1) 学会員の自己点検の役割を果たしている、(2) 学会賞選定の資料として役立つ、(3) 他のデータベースには掲載されていない文献も掲載されているなどの理由から代替的な措置を講じて継続す

べきとの意見と、(1) 時代的な役割を終えた(大学評価の普及に伴い自己点検はすでに定着している、各種データベースの利用が容易となっている)、(2) 学会賞選定資料は代替措置をとることが可能である、(3) 緊縮財政のなかで他に支出すべきものがあるなどの理由から、これを機会に目録作成を廃止すべきとの意見が出たことを踏まえて、前回幹事会以降 Web 入力方式など代替措置についての情報収集が行われてきたところであるが、調査結果について代表幹事から報告があり、審議の結果、社会政策学会の場合には予算上の理由、技術的な理由から Web 入力方式の実現はむずかしいとの結論に達した。

さらに議論を行った結果、2007 年版についてはすでに総会で承認された予算でその作成が予算措置されているところから、引き続き大原社会問題研究所に 2007 年版の調査は依頼し、学会ホームページに掲載するなどの措置をとること、2008 年版以降の扱いについては来年度予算案の編成までに決定することが決まった。

4. 学会誌の出版社選定について

武川代表幹事から、前回幹事会に決定した方針に基づき 7 社に見積もりを依頼したところ 6 社から回答があり、この 7 社について、代表幹事・編集委員長・会計担当幹事の 3 人で、(1) 価格、(2) 編集能力、(3) 学術出版社としてのイメージ、(4) これまでの学会活動への貢献といった観点から検討した結果 2 社に絞り込んだことが報告された。

さらに、この 2 社に価格・編集体制などの点で再調査した結果が説明された。

以上の報告をうけて審議した結果、2 社のうち低価格を提示した出版社に優先順位を置いて交渉を進めるとともに、学会と出版社の仕事の分担についても明確にしていくことが決まった。

5. ホームページの運営及びメールによる情報配信のありかたについて

所幹事から、ホームページの運営やメールによる情報配信を扱う委員会を設置したい旨の提案がなされ、広報委員会を設置することが了承された。規程案は臨時総会に提案される。

6. 秋季大会企画委員会報告

猿田秋季大会企画委員会委員長から、プログラムの修正、共通論題打ち合わせなど秋季大会の準備状況について報告があった。

7. 春季大会企画委員会報告

遠藤春季大会企画委員長から、第 116 回大会の準備状況について報告があった。共通論題は白井邦彦、呉学殊、五十嵐仁、森岡孝二氏に報告をすでに依頼し了解をえている。

8. 編集委員会報告

小笠原編集委員長の準備したペーパーにもとづき、代表幹事から、学会誌第 19 号の編集状況、新学会誌『社会政策』の準備状況、査読専門委員の委嘱についての報告があった。

これに対して、ジャーナルは投稿論文中心であることを確認すべきだ、共通論題の扱いについても議論すべきだとの意見が出された。また、現行学会誌編集委員・現幹事のうちまだ査読専門委員となっていない会員に対して査読専門委員として追加委嘱したい旨の編集委員長からの提案があり、了承された。

9. 国際交流委員会報告

埋橋国際交流委員長から、外国人会員の会費規程について提案があり、了承された。

10. 学会賞選考委員会報告

武川代表幹事から、菅沼会員を学会賞選考委員に委嘱したい旨の提案があり、了承された。また玉井学会賞選考委員長から、学会賞表彰規程の改正案を臨時総会に諮ることが提案され、了承された。

11. 115 回大会(秋季)開催校報告

大前幹事から 115 回大会の準備状況について報告があった。

12. 118 回大会・120 回大会について

代表幹事から、118 回大会・120 回大会の開催校をそれぞれ日本大学・早稲田大学に変更したい旨の提案があり、了承された。

社会政策学会幹事会議事録(第 14 回)

- (1) 名 称：社会政策学会 2006-2008 年期中第 14 回幹事会
- (2) 日 時：2007 年 10 月 12 日(金) 14:00~17:55
- (3) 場 所：龍谷大学(深草キャンパス)
紫英館第二共同研究室
- (4) 出 席：阿部、居神、埋橋、遠藤、大沢、小笠原、大前
小越、武川、玉井、都留、所、富田、橋元、松丸
室住、森、湯澤
欠 席：岩田、小野塚、木本、猿田、西村、藤澤、宮本
出席 18 名、委任状 5 名

議 題

1. 新入会員の承認
7 名の新入会員を承認した。
2. 前回議事録の確認
第 13 回幹事会議事録の確認を行った。
3. 115 回大会(秋季)開催校報告
大前幹事から、115 回大会の準備状況について報告があった。200 人強の事前申し込みがあり、懇親会には 100 人程度が参加の予定。
4. 学会誌の出版社の選定について
武川代表幹事より、学会誌の出版社選定に関して、前回の決定を受け、優先順位第 1 位の出版社との間で、学会と出版社との役割分担等の交渉を行ってきた旨の報告があり、交渉の結果、特段の問題はなかったのが最終的にこの出版社に決めたいとの提案があり、了承された。
また引き続き、武川代表幹事より出版社との間の契約案についての提示があり、意見交換ののち、雑誌の編集権については学会側にあることを銘記した条項を挿入するとの条件で、おおむね了承された。契約の細目についての詰めは、代表幹事、編集委員長、会計担当幹事の三者に一任することとなった。
なお学会誌が投稿論文中心であるとの原則のもとに、特集企画のありかた、共通論題の扱い、等々については、今後とも

幹事会で議論していくことが確認された。

5. 出版社との協力関係のあり方について

武川代表幹事より、ある出版社から書籍斡旋(学会が販売の斡旋をした場合に、売上の10%を手数料として学会に納付)の依頼が来ている旨の紹介があり、これについてどう対応するか協議した。手数料をとるとなると会員に対して学会の推薦図書との誤解を与えるおそれがあること等の理由から好ましくないとの意見が出され、今回は、手数料を伴う形での斡旋は見送ることとなった。

ただし学会財政が厳しいおりから、学会の収入を増やすためにニューズレターに広告を掲載することや、ニューズレター送付のさいにチラシを封入することに関しては行ってもよいのではないかと意見が出され、この点については了承された。

6. 学会誌への投稿促進の方策について

遠藤幹事より、学会誌への投稿を促進するために、(1)大会の企画募集時に、大会に提出するフルペーパーの改良版を学会誌に投稿するよう積極的に呼びかけていくこと、(2)これにともない報告者のホームページ用原稿のホームページへのアップロードは廃止することが提案された。ホームページからフルペーパーをダウンロードすることの利点についての意見が出されたが、最終的には、費用効果を考えて、上記提案が了承された。

7. 臨時総会について

武川代表幹事から、臨時総会の議事次第について提案があり、了承された。

8. 春季大会企画委員会報告

遠藤編集委員長から、2008年度春季大会の準備状況について報告があった。今回は申込締切が2008年1月10日となる。

9. 編集委員会報告

小笠原編集委員長から、学会誌の編集状況についての報告があった。秋季大会の書評分科会報告について、学会企画として行なわれる書評分科会の内容を学会誌に反映させるという考え方に沿って、掲載可能と判断されるものについて、編集委員会から執筆依頼を行なうことが提案され、了承された。

また地方在住の編集委員には旅費負担が大きすぎるので、必要な編集委員会を開催することが困難となっている事情の説明があり、編集委員会の活動費から旅費へ支出することはできないかとの問題提起があり、意見交換した。編集委員会だけ特別扱いにすることはできないとの意見がある一方、学会誌を軌道に乗せるために特例とすべきとの意見もあり、結論には至らず、継続審議となった。

10. 国際交流委員会報告

堀橋国際交流委員長から、外国人会員の会費に関する特例措置、後半期の国際交流活動について、13日に開催される国際交流委員会で議論する旨の報告があった。

11. 学会賞選考委員会報告

玉井学会賞選考委員長から、13日に第1回委員会を開催する旨の報告があった。

12. ニューズレター担当幹事報告

所幹事から、ニューズレターの編集状況、ホームページの引き継ぎ状況についての報告があった。

13. 社会政策関連学会協議会の件

遠藤幹事から、社会政策関連学会協議会の準備状況について報告があった。2007年9月27日に、社会政策関連学会設立準備委員会の第1回会合が開催され、大沢幹事をコーディネーターとして、2008年3月22日午後「設立準備シンポジウム」(グローバル化と社会政策——排除から包摂へ)を開催し、社会政策学会からも報告者を1人出すことが決まった。

また社会政策学会からの報告者に対しては旅費が必要な場合には学会が支弁する。人選については大沢幹事に一任する。

なお同シンポジウムで報告者を出す学会は、社会政策学会、日本社会福祉学会、日本労働社会学会、ジェンダー法学会、討論者を出す学会は福祉社会学会、女性労働問題研究会。

これと関連して、大沢幹事から、日本学術会議の社会政策分科会(名称変更の可能性あり)の状況について報告があった。6月に分科会設置が正式に承認されたものの、学術会議社会学委員会の内部事情から第1回委員会が開催されない状況が続いていたが、10月に開催された総会において、活動開始の目途が立った。これにともない3月22日に予定されている上記シンポジウムについては、日本学術会議が共催者として名を連ね可能性がある。

14. 学会による後援の件

武川代表幹事より、日本大学法学部ソーシャル・キャピタル研究会主催のシンポジウム「ソーシャル・キャピタルの可能性を探る」(2007年11月24日東京ステーションコンファレンスで開催)について、社会政策学会として後援したい旨の提案があり、了承された。

15. 選挙管理委員会報告

橋元選挙管理委員長から、役員選挙結果についての報告があった。投票者数164名(投票率14.4%)。有効投票者数162名、無効投票者数2名。

なお開票作業に無償で協力してくれた開催校の学生に対して提供した弁当の経費を支出して欲しい旨の提案があり、了承された。

社会政策学会幹事会議事録(第15回)

- (1) 名称：社会政策学会 2006-2008 年 第 15 回 幹事会
- (2) 日時：2007 年 10 月 13 日(土) 12:00~12:40
- (3) 場所：龍谷大学(深草キャンパス)4 号館・演習室 319
- (4) 出席：阿部、遠藤、大沢、小笠原、大前、小越、猿田、武川、都留、所、富田、橋元、藤澤、松丸、宮本、室住、森
- 欠席：居神、岩田、埋橋、小野塚、木本、玉井、西村、湯澤

議 題

1. 新入会員の承認
2 名の新入会員を承認した。

2. 118 回大会(春季)の日程について

武川代表幹事より、日本大学で開催される 118 回大会の開催日について、2009 年 5 月 23 日と 24 日としたい旨の提案があり、了承された。

3. 大会での報告の募集のありかたについて

次回大会から HP 用原稿の HP 掲載は廃止されることになるが、出席することのできなかった自由論題・分科会のフルペーパーを希望する会員の便宜のため、次回大会から大会プログラムに報告者のメールアドレスを掲載することとなった。

ただし HP へアップロードされた大会プログラムからはメールアドレスの部分は削除する。

社会政策学会幹事会議事録(第 16 回)

- (1) 名称：社会政策学会 2006-2008 年期第 16 回幹事会
- (2) 日時：2007 年 10 月 14 日(日) 12:15~13:20
- (3) 場所：龍谷大学深草キャンパス 4 号館演習室 319
- (4) 出席者：阿部、埋橋、遠藤、大沢、小笠原、小越、小野塚、猿田、武川、橋元、藤澤、松丸、室住、森
欠席者：居神、岩田、大前、木本、玉井、都留、所、富田、西村、宮本、湯澤
出席 14 名

議 題

1. 広報委員会の人選について

10 月 13 日の臨時総会において広報委員会の設置と同規程が承認されたのを受けて、委員長に所道彦幹事を選び、ま

た、委員長の指名にもとづき委員を、猪飼周平、岡田忠克、垣田裕介、上村泰裕、熊沢透の各会員に委嘱することを決定した。

2. 出版社との協力関係について

前々回幹事会で検討した「書籍幹旋」に関して、その後の依頼主の出版社との折衝を踏まえて、武川代表幹事より、ニューズレター発送封筒へのチラシ等の封入を認め、出版社より支払われる封入料は、封入作業費用および発送費用に充当したい旨の提案があり、了承された。チラシ 1 枚当たりの封入料単価およびチラシ封入数の上限等については今後継続して審議することにした。

3. 共通論題報告の学会誌への掲載について

大会共通論題報告等の新学会誌『社会政策』での取り扱いについて多面的に検討した結果、まず、第 115 回大会共通論題については、各報告者および座長に学会誌用原稿執筆を依頼することを決定した。

次に、今後の基本原則について、以下の編集委員会案が小笠原浩一幹事より提示された。(1) 大会共通論題報告論文を学会誌に掲載する必要がある場合は、春秋の各大会企画委員長から編集委員長宛て掲載依頼を出していただく、(2) 編集委員会はこれを尊重し、査読つき依頼論文として扱う、(3) 査読は、査読専門委員 1 名と大会企画委員から推薦のあった企画委員 1 名とで実施する、(4) 初出論文であることを原則とする、(5) 大会共通論題に関する俯瞰的論文ないし総論的論文を入れるようにする。

共通論題報告の学会誌掲載に関する基本原則は、この案をもとに、今後検討を進め決定することにした。

6. 承認された新入会員

氏名	所属名称	専 門
10 月 12 日 承認分 (7 名)		
久住千佳子	北海道大学大学院教育学院院生	労使関係・労働経済
和田 善行	早稲田大学大学院商学研究科院生	社会保障・社会福祉
村田 文世	九州看護福祉大学看護福祉学部	社会保障・社会福祉
三田 結実	一橋大学大学院社会学研究科院生	社会保障・社会福祉
谷 力	大阪経済大学大学院経済学研究科院生	社会保障・社会福祉
福本 徹	国立教育政策研究所	労使関係・労働経済
呉 学殊	労働政策研究・研修機構	労使関係・労働経済
10 月 13 日 承認分 (2 名)		
江口 雅彦	滋賀大学大学院経済学研究科院生	社会保障・社会福祉
芳野 俊郎	佛教大学社会福祉学部	その他